

Vectorworks 2025 セットアップマニュアル

この度はVectorworks 2025ソフトウェアをご購入いただき、誠にありがとうございます。

下記のリンクをクリックしていただくと Vectorworks 2025 ソフトウェアのご利用に関する重要な情報が表示されます。
インストールする前に必ずお読みください。

STEP1:インストール前の確認.....3

インストール必要条件

STEP2:インストール手順について.....5

1. シリアル番号について
2. インストールに関するご注意
3. インストール前の準備
4. Vectorworksソフトウェアのインストール

STEP3:起動について.....10

1. Vectorworksソフトウェアの起動
2. アクティベーションについて（スタンドアロン版）
3. オンラインリソースライブラリ情報の更新
4. ライブラリファイルのインストール
5. 移行マネージャについて
6. 操作マニュアルについて

STEP4:アンインストールについて.....18

Vectorworksソフトウェアのアンインストール

A. よくある質問.....20

B. 注意点.....21

1. Vectorworksフォルダのアクセス権
2. インストール時に『License Description File(LDF)の取得エラー』が表示された場合

C. 快適にお使いいただくために.....24

1. インターネット接続環境について
2. パソコンのユーザーアカウント名、およびインストール先のフォルダパスについて
3. グラフィックスコントローラについて
4. Iris、Iris Pro/Iris Plus/Iris Xeでのご使用について
5. 動作対象外のグラフィックス環境について
6. シェイドレンダリング及びマルチビューについて
7. VRAM（ビデオメモリ）について
8. グラフィックスについて
9. リモート環境および仮想マシンについて
10. インストールについて
11. OS
12. 動作の最適化
13. プロジェクト共有機能とネットワーク回線の速度

- 14. 画面表示と各種レンダリングのハードウェア依存
- 15. Redshift動作環境
- 16. Showcase機能について
- 17. 他社製レンダリングアプリケーションとの連携について
- 18. 高解像度ディスプレイについて
- 19. サポート対象外の環境について

D. 各フォルダ/ファイルの役割.....33

E. 技術情報関連.....33

STEP1 : インストール前の確認

Vectorworks 2025ソフトウェアを快適にご使用いただくために、以下の内容をご確認の上、ソフトウェアのインストールを行ってください。

インストール必要条件

Vectorworks 2025の動作環境をご案内いたします。お使いのパソコンが以下の条件を満たしているかご確認ください。条件を満たしていない場合、Vectorworksが正常に起動しない場合があります。Vectorworksを快適にご使用いただくために、条件を満たしたパソコンでご使用になることを強くお勧めします。

Vectorworks 2025 スタンドアロン版

	Windows		Mac
OS	Windows 11 Windows 10 (64bit)		macOS 15 (Sequoia) macOS 14 (Sonoma) macOS 13 (Ventura)
	エントリー	ミドル (推奨)	ハイエンド
目安となるデータの規模	<ul style="list-style-type: none"> ・2D図面 ・簡単な3Dモデリング 	<ul style="list-style-type: none"> ・詳細な2D図面 ・詳細な3Dのモデリング ・小中規模BIM ・レンダリング 	<ul style="list-style-type: none"> ・詳細な2D図面 ・非常に複雑かつ詳細な3Dモデリング ・大規模BIM ・レンダリング ・Showcase機能を使用したプリビズ
CPU	<ul style="list-style-type: none"> ・Intel Core i5 または AMD Ryzen 5、またはそれと同等以上のもの ・Apple M1以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・6コア以上搭載で2GHz以上の Intel Core i7 または AMD Ryzen 7、またはそれと同等以上のもの ・Apple M1 Pro以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・8コア以上搭載で3GHz以上の Intel Core i7 または、AMD Ryzen 7、またはそれと同等以上のもの ・Apple M1 Max以上
※ARM系プロセッサを搭載したWindows PCはサポートされていません。 ※AVX2に未対応のCPUではRenderworksは使用できません。			
メモリ	8GB以上	16GB以上	32GB以上
グラフィックス	以下の条件を満たすグラフィックカード ・Windows: DirectX 11 互換、2GB以上のVRAM ・Mac (Intel) : Metal GPUFamily1以上、2GB以上のVRAM ・Mac (Mシリーズ) : M1 8GB以上	以下の条件を満たすグラフィックカード ・Windows: DirectX 11 互換、4GB以上のVRAM ・Mac (Intel) : Metal GPUFamily1 v4以上、4GB以上のVRAM ・Mac (Mシリーズ) : M1 Pro 16GB以上	以下の条件を満たすグラフィックカード ・Windows: DirectX 11 互換、8GB以上のVRAM ・Mac (Intel) : Metal GPUFamily2以上、8GB以上のVRAM ・Mac (Mシリーズ) : M1 Max 32GB以上
※ CPU内蔵グラフィックスは非推奨。やむをえずCPU内蔵グラフィックスを使用する場合は、Intel Iris、Iris Pro/Iris Plus/Iris Xeをご使用ください。 Intel HD Graphics/UHD Graphicsでは正常に動作しない場合があります。詳しい情報は、 p.25の「4. Iris、Iris Pro/Iris Plus/Iris Xeでのご使用について」 をご確認ください。			

ディスク容量	55GB以上（オプションライブラリ33GBを含む） ・フラッシュストレージ（SSD）にVectorworksをインストールすることで動作速度が向上します。	
画面解像度	1440 x 900以上	1920 x 1080以上
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・インストール、アクティベーション、アップデートのためのインターネット接続環境が必要です。 ・ご使用にあたり製品のユーザー登録、Vectorworksアカウントの登録が必要です。 ・大文字と小文字を区別するファイルシステムはサポートされていません。 ・日本語OS環境でご利用ください。 ・パソコンのユーザーアカウント名、および Vectorworks のインストール先のフォルダパスには、2バイト文字（日本語など）を使用しないでください。p.24の「2. パソコンのユーザーアカウント名、およびインストール先のフォルダパスについて」をご参照ください。 ・Redshiftを利用するレンダリングは、p.30の「15. Redshift動作環境」をご確認ください。 	

Vectorworks 2025ネットワーク版 クライアント

動作環境	Vectorworks 2025 スタンドアロン版の動作環境に準じます。 ※Vectorworks 2025版のVectorworks Site Protection Server（ライセンス管理ソフトウェア）が必要です。
スタンドアロン版との差異	Vectorworksクライアントから直接インターネット経由のアクティベーションは行いません。

Vectorworks 2025 学生・教職員向けライセンス（スタンドアロン版準拠）

動作環境	Vectorworks 2025 スタンドアロン版の動作環境に準じます。
スタンドアロン商用版との差異	<ul style="list-style-type: none"> ・作成されるファイルはウォーターマーク入りの教育版専用ファイルフォーマットとなります。 ・使用期限はライセンスの発行承認がされた時点から1年間です。

Vectorworks 2025 教育機関向けライセンス（ネットワーク版準拠）

動作環境	<ul style="list-style-type: none"> ・Vectorworks 2025 ネットワーク版（アクティベーションタイプ）の動作環境に準じます。 ・ライセンス管理ソフトウェアの導入が必要です。ライセンス管理ソフトウェアの動作環境は、Vectorworks Site Protection Serverに準じます。
ネットワーク商用版との仕様差異	<ul style="list-style-type: none"> ・作成されるファイルは教育版専用のファイルフォーマットとなります。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・追加ライセンスはありません。このため初回導入時に将来的な利用数も見据えた計画導入が必要です。 ・ライセンス数に上限はありませんが、場合によりご利用方法を確認させていただくことがございます。 ・ライセンスの持ち出し機能の利用は許可されていません。この機能によりライセンス不足が生じた場合、ライセンスの追加/補充はできません。

- ・記載されている情報は 2025 年 4 月現在のもです。最新の情報は、弊社 Web サイトをご確認ください。

<https://www.vectorworks.co.jp/Support/sysreq/VW2025.html>

- ・ご利用のパソコンの各スペックの確認には、合わせて以下のWebサイトの情報もご参考ください。

https://www.vectorworks.co.jp/Support/tips/pc_spec.html

STEP2：インストール手順について

インストールの前に p.3 の「STEP1：インストール前の確認」をご確認ください。

Vectorworks 2025 およびシリアル番号の取得方法については

- スタンドアロン版、 dongle 版：製品パッケージ内「Vectorworks ご利用の手引き」
- ネットワーク版：製品パッケージ内「簡単セットアップ」または「セットアップマニュアル」

をそれぞれご参照ください。

1. シリアル番号について

- シリアル番号は全 24 桁です。
例：ELXJAZ-XXXXXX-XXXXXX-XXXXXX
BLXJAZ-XXXXXX-XXXXXX-XXXXXX
GLXJAZ-XXXXXX-XXXXXX-XXXXXX
- シリアル番号はすべて半角英数字（1 バイト文字）の大文字です。入力時は全角や小文字を使用しないでください。
- シリアル番号はアルファベットの O（オー）と I（アイ）は使用していません。「0」はゼロを、「1」はイチを意味します。
- シリアル番号には「-」（ハイフン）が必要です。

2. インストールに関するご注意

Vectorworks ソフトウェアのインストール作業の前に以下の点にご注意ください。

- ※ インストール時のインストールデータのダウンロードにかかるインターネット接続料や通信料はお客様のご負担となります。

2-1. パソコンのユーザーアカウントについて

パソコンのユーザーアカウント名に 2 バイト（日本語）を使用しないでください。

Windows の場合は、コントロールパネル > ユーザーアカウントでご確認ください。

Mac の場合は、システム環境設定 > ユーザとグループでご確認ください。

2-2. Vectorworks インストール先のフォルダパスについて

Vectorworks のインストールパスのフォルダ名に 2 バイト（日本語）を使用しないでください。

2-3. フォルダのアクセス権限

インストール先ディレクトリ（アプリケーションフォルダなど）がフルアクセス（読み書き可能）であることが必要です。または、同条件を満たしたユーザー権限（アカウント）でログインされていることも必要です。アクセス権限についての詳しい内容は、p.21 の「1-1. フォルダ・ファイルのアクセス権に関する注意点」をご参照ください。

2-4. ハードディスクのフォーマット

次のドライブフォーマットオプションには対応していません。ご注意ください。

UNIX / MS-DOS / 大文字と小文字を区別 (Mac)

2-5. ウィルス対策ソフト等

ウィルス対策およびセキュリティ系ソフトウェアが動作している場合には、すべてを停止した状態でインストールを行ってください。

3. インストール前の準備

インストーラーを起動する前に以下をご確認ください。

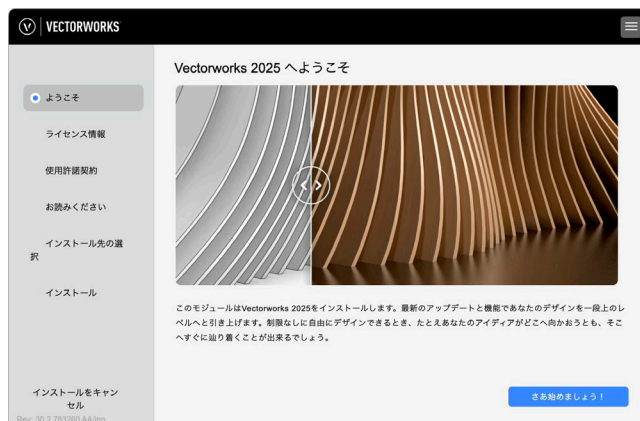
- パソコンのシステム時計を正確に合わせてください。
- パソコンを LAN に接続し、インターネットに接続できるかご確認ください。
- パソコンの言語で「日本語」を選択してください。
- プリンタードライバーをインストールしてください。
- ユーザーアカウント名に 1 バイト（半角英数字）が使用されていることをご確認ください。2 バイト（日本語文字）の場合は、1 バイトへ変更してください。
- グラフィックスドライバーを最新バージョンへアップデートしてください。（Windows）
- ドングル版の場合は、事前にハードウェアキー（ドングル）を USB ポートに差し込んでください。

4. Vectorworks ソフトウェアのインストール

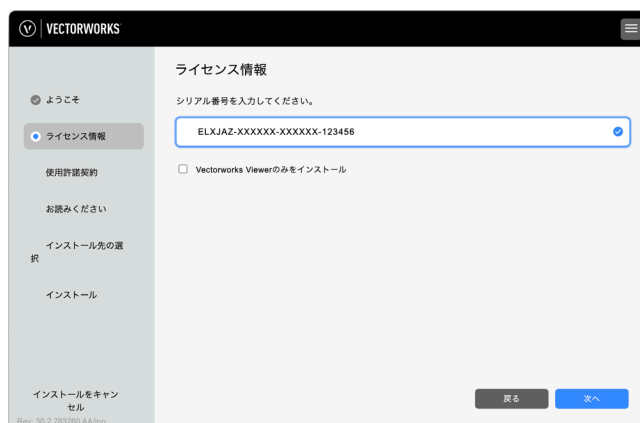
Vectorworks ソフトウェアのインストール方法をご案内いたします。

- ※ ドングル版に関しては、Vectorworksソフトウェアをインストールするとドングルドライバーが自動的にインストールされます。macOS 13 (Ventura)以上のmacOSでご使用される方は「ドングルドライバー」フォルダの「お読みください.pdf」をご覧ください。
 - ※ ネットワーク版に関しては別途、ライセンス管理プログラムのインストールが必要です。詳しくはネットワーク版サーバーインストーラーに添付の「セットアップマニュアル.pdf」および「リファレンスガイド.pdf」をご覧ください。
1. 所定の方法でVectorworksインストールプログラムをローカルフォルダへダウンロードしてください。ダウンロードが完了しましたら、任意の場所へ展開（解凍）します。
 - ※ ネットワーク版に関しては別途、ライセンス管理プログラムのインストールが必要です。詳しくはネットワーク版サーバーインストーラーに添付の「セットアップマニュアル.pdf」および「リファレンスガイド.pdf」をご覧ください。
 - ※ インストールメディア（USB）をご利用の場合はインストールプログラムのダウンロード、ローカルフォルダへの移動、および展開（解凍）の必要はありません。
 2. 展開（解凍）したフォルダ内の「Vectorworks 2025 Install Manager」をダブルクリックします。
 - ※ Windows は「Vectorworks 2025 Install Manager.exe」、Mac は「Vectorworks 2025 Install Manager.app」をダブルクリックしてください。拡張子は OS の設定により表示されない場合があります。
 - ※ Windows はインストーラーをダブルクリックしてから起動までに数分を要する場合がございます。インストーラーをダブルクリック後は起動するまでそのまましばらくお待ちください。

3. インストールダイアログボックスが表示されます。「さあ始めましょう！」ボタンをクリックします。



4. シリアル番号を入力し、「次へ」ボタンをクリックします。



※ シリアル番号はハイフン込み、英数半角大文字で正しく入力してください。

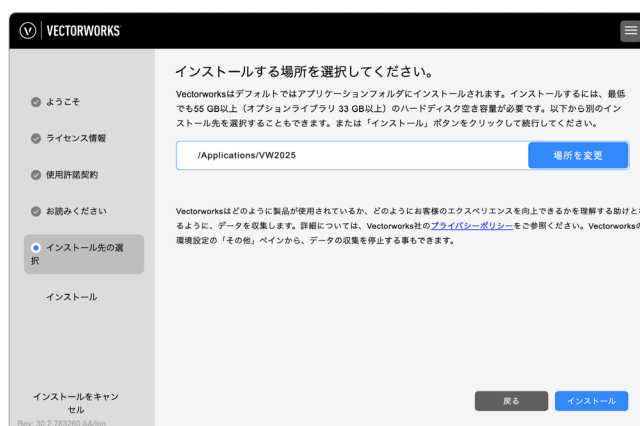
5. Vectorworks使用許諾契約をよくお読みいただき、ご同意いただける場合は「使用許諾契約の全条項に同意します。」にチェックを入れ、「次へ」ボタンをクリックします。



6. 「お読みください」の記載内容を確認し、「次へ」ボタンをクリックします。



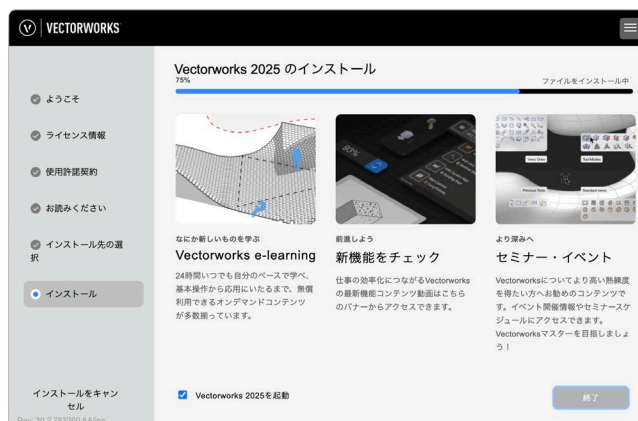
7. インストール先のディレクトリを選択します。 選択後、「インストール」ボタンをクリックするとインストールが開始されます。



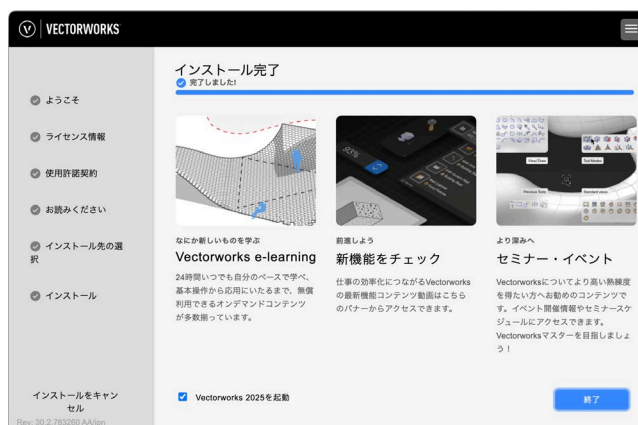
- Mac はユーザ名とパスワードを求められることがあります。
ログインしている macOS のアカウントのユーザ名とパスワードを入力してください。



8. インストール中です。



9. インストール完了です。「終了」ボタンをクリックするとインストーラーが終了します。



- 「Vectorworks 2025 を起動」にチェックを入れると、Vectorworks ソフトウェアが自動的に起動します。

※ インストール中に『License Description File(LDF)の取得エラー』が表示された場合は、

B. 注意点 の『[2. インストール時に『License Description File\(LDF\)の取得エラー』が表示された場合](#)』をご参照ください。

STEP3 : 起動について

Vectorworks ソフトウェアをインストール後の起動についてご案内いたします。

1. Vectorworks ソフトウェアの起動

1-1. スタンドアロン版、dongle版

Vectorworks ソフトウェアを起動します。インストール時にインストール先を指定しない場合は、以下の階層にインストールされています。

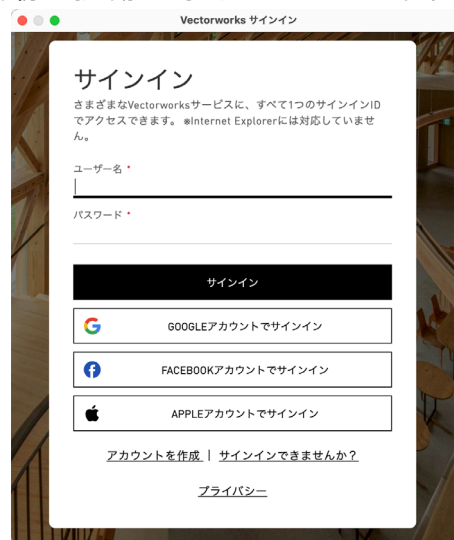
Windows : 起動ディスク > 「Program Files」フォルダ > VW2025

Mac : 起動ディスク > 「アプリケーション」フォルダ > VW2025

○ 起動手順

1. Vectorworks 2025 アイコンをダブルクリックします。

Vectorworks 2025 が初めて起動されると、Vectorworks サインインダイログボックスが開きます。



2. Vectorworks アカウントをお持ちの方は、ユーザー名とパスワードを入力し、「サインイン」ボタンをクリックします。アカウントをお持ちでない場合は、「アカウントを作成」から新しいアカウントを作成してください。または各連携アカウントからサインインしてください。

スタンドアロン版は続けて以下の操作を行います：

3. アクティベーションの確認ダイログボックスが開きます。
4. 「アクティベート」ボタンをクリックすると、Vectorworks ソフトウェアが起動します。

1-2. ネットワーク版

Vectorworks 2025 ネットワーク版のクライアントソフトウェアを起動すると、サーバーソフトウェアと通信を行います。このため、起動にはサーバー用コンピューターとのネットワーク接続が必要です。

※ **ソフトウェアのライセンスを「持ち出し」している場合、期間内はネットワークに接続する必要はありません。**

Vectorworks ソフトウェアを起動します。インストール時にインストール先を指定しない場合は、以下の階層にインストールされています。

Windows : 起動ディスク > 「Program Files」フォルダ > VW2025_Net

Mac : 起動ディスク > 「アプリケーション」フォルダ > VW2025_Net

○ 起動手順

1. Vectorworks 2025 アイコンをダブルクリックします。
2. ログイン設定ダイアログボックスが開きます。
3. ログイン設定を行います。



①：プライマリサーバー

ライセンス管理ソフトウェアを起動しているサーバー用コンピューターの情報を入力します。

①-A：サーバー用コンピューターの IP アドレスを入力します。例:192.168.3.20

①-B：サーバー用コンピューターのポート番号を入力します。

デフォルトは 5053 です。

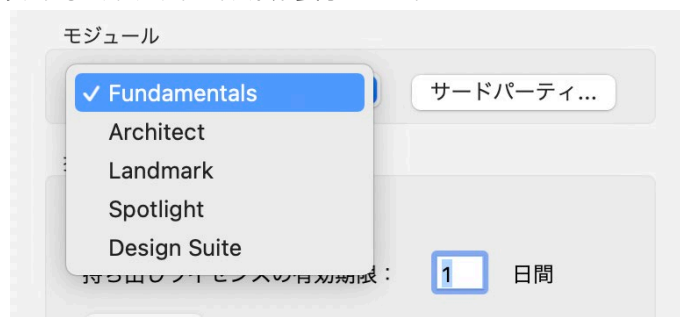
ライセンス管理ソフトウェアのセットアップ時に変更している場合は、
セットアップ時に控えておいた変更後の番号を入力してください。

- ※ 設定により、一時的にネットワークから切り離された環境で使用することもできますが、「持ち出し」機能を使用するには、サーバー用コンピューターの IP アドレスが固定されている必要があります。
- ※ ログイン設定ダイアログボックスの各種設定の詳細について、詳しくは Vectorworks ヘルプまたはリファレンスガイド.pdf をご覧ください。

②：モジュール設定

使用するモジュールの選択を行います。

モジュールをクリックすると、プルダウンリストが表示されます。



必要なモジュールを選択します。

何も選択しない状態で「ログイン」ボタンをクリックすると、Fundamentals のみで起動します。

各モジュールは、重複して選択することはできません。

- ※ **利用できるのはライセンスをお持ちの製品のみです。ライセンスをお持ちでない製品は利用できません。**
- ※ **クライアントで利用できる作業画面は、使用するモジュールによって異なります。初回起動時に警告が出る場合がありますが、そのまま起動してください。**

モジュール	利用できる作業画面
Fundamentals	Fundamentals
Architect	Fundamentals、Architect、 Architect-BIM
Landmark	Fundamentals、Landmark
Spotlight	Fundamentals、Spotlight
Design Suite	すべて

4. 「ログイン」ボタンをクリックします。Vectorworks ソフトウェアが正常にサーバー用コンピュータと通信し、ライセンス管理ソフトウェアが起動を許可すると、初回起動時に Vectorworks サインインダイアログボックスが開きます。
5. Vectorworks アカウントをお持ちの方は、ユーザー名とパスワードを入力し、「サインイン」ボタンをクリックします。アカウントをお持ちでない場合は、「アカウントを作成」から新しいアカウントを作成してください。または各連携アカウントからサインインしてください。
6. Vectorworks ソフトウェアが起動します。

1-3. アップデータ有無の確認

以下の手順でアップデータの有無を確認してください。アップデータが存在する場合、必ず Vectorworks 2025 のアップデートを行ってください。

- ※ **アップデータダウンロードにかかるインターネット接続料や通信料はお客様のご負担となります。**

Windows : 「ヘルプ」メニュー > 「アップデータを確認」

Mac : 「Vectorworks」メニュー > 「アップデータを確認」

アップデートを自動で確認する場合は、アップデートが利用できる場合にのみ通知が表示されます。

自動確認の間には手動でアップデートを確認できます。

詳しくは Vectorworks 2025 Help の「Vectorworks 製品を更新する」をご参照ください。

2. アクティベーションについて（スタンドアロン版）

スタンドアロン版は、初回起動時、およびご利用を開始してから一定期間経過すると、インターネット経由で認証サーバーへアクティベーション（ライセンス認証）を行います。アクティベーションとは、ライセンスを有効化する手続きであり、濫用を防ぐための仕組みです。インターネット経由で認証サーバーに接続し、ライセンスが有効なものかどうかを確認します。Vectorworks ソフトウェアをご利用いただくパソコンは、アクティベーションの際にインターネット接続されている必要があります。

- アクティベーションの有効期間は、最後にアクティベーションを行ってから一定期間保持されます。継続してご利用になるには、有効期間内にインターネットに接続していただく必要があります。常時インターネットに接続して Vectorworks ソフトウェアを使用している場合は、Vectorworks ソフトウェアを起動する度、有効期間が自動更新されます。
 - Vectorworks ソフトウェアを使用する上で、常時インターネットに接続しておく必要はありません。
 - セキュリティが強固なネットワーク環境下では、認証サーバーとの接続がブロックされ、アクティベーションできない場合があります。このような環境下における対処方法については、以下のいずれかを参照ください。
 - インストールプログラムフォルダ > 「Document」フォルダ > 「プロキシ環境で使用する方へ」フォルダ
<https://www.vectorworks.co.jp/Activation/>
- なお、この対処方法は、ネットワーク設定に関わりますので、予めネットワーク管理者の方に、ファイアウォールやプロキシサーバーの設定についてご確認ください。
- Vectorworks ソフトウェアを一度に 1 台の（ただし、1 台を越えることのない）コンピュータで運用することができます。
 - アクティベーション可能な台数は、製品版は 1 ライセンスで 1 ユーザーが使用している 2 台、Vectorworks 学生・教職員向けライセンスは 1 ライセンスで 1 台です。
 - 製品版の Vectorworks ソフトウェアは、次の 2 台のコンピュータにインストールすることができます。
 - （1） 主要なデスクトップ・ワークステーション、および（2） 携帯型コンピュータまたはユーザー本人の自宅に置かれたコンピュータのいずれかです。
 - アクティベーションを任意のタイミングで解除することはできません。有効期間終了までお待ちください。また、Vectorworks ソフトウェアをアンインストールしてもアクティベーションは解除されません。
 - アクティベーションの有効期間の確認は、ツールメニュー > オプション > 環境設定 > その他 > シリアル > ライセンス情報ボタンをクリックすると表示される「認証の期限」で、次のアクティベーション日を確認いただけます。有効期間が終了しても、再びアクティベーションを行えば継続して使用できます。

起動やアクティベーションに関するトラブルについては、p.20 の「A. よくある質問」と以下の弊社 web サイトを参照ください。

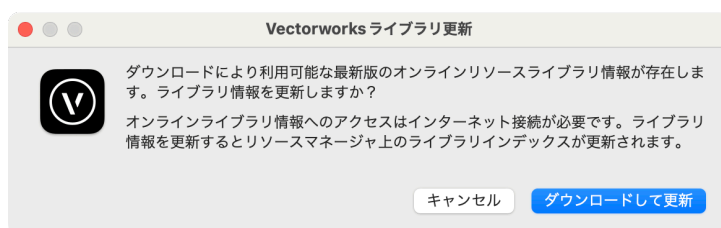
<https://www.vectorworks.co.jp/Activation/>

3. オンラインリソースライブラリ情報の更新

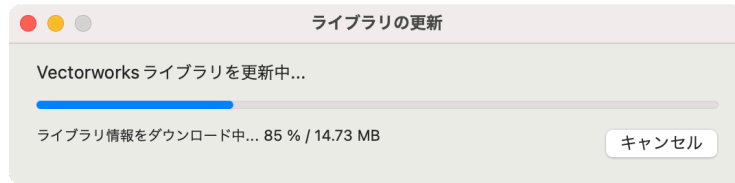
ライブラリファイルはオンラインリソースライブラリから入手することができます。

※ ライブラリの情報更新やファイルダウンロードにかかるインターネット接続料や通信料はお客様のご負担となります。

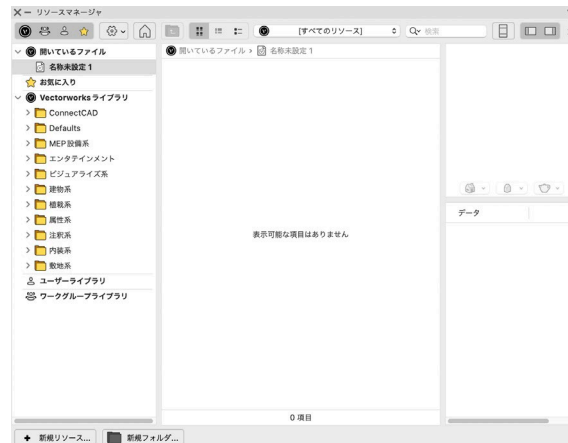
1. 初回起動時、および起動時に最新版のオンラインリソースライブラリの更新情報が存在する場合、以下のダイアログボックスが開きます。更新を行うには「ダウンロードして更新」をクリックしてください。



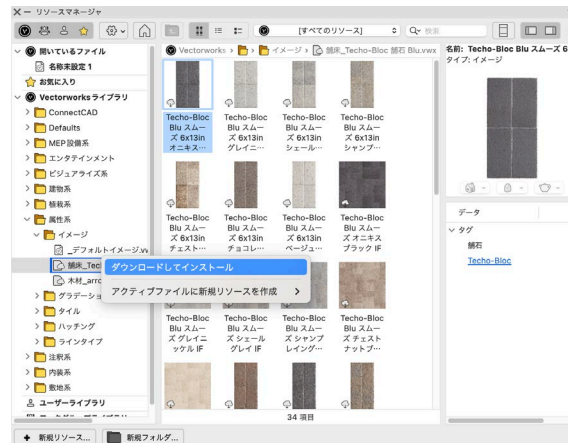
2. ライブラリの更新中です。



3. リソースマネージャのライブラリインデックスが更新されました。



4. 任意のライブラリファイルを選択し、ダウンロードしてください。



4. ライブラリファイルのインストール

ライブラリファイルは Vectorworks Package Manager からインターネット経由でインストールすることも可能です。Vectorworks 2025 のヘルプメニューの「オプションライブラリ(ダウンロード)」から任意のライブラリを選択してください。

※ ライブラリのダウンロードにかかるインターネット接続料や通信料はお客様のご負担となります。

5. 移行マネージャについて

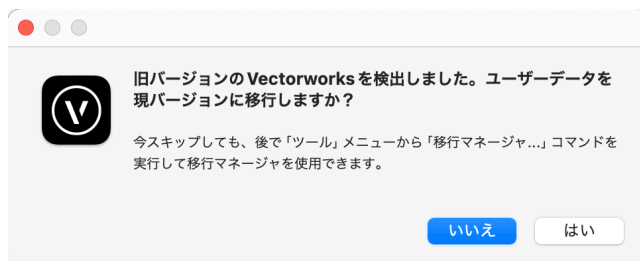
Vectorworks ソフトウェアを初めて起動した時、移行マネージャが起動します。移行マネージャは旧バージョンの作業環境を引き継ぐことができる機能です。ユーザーのパソコンにインストールされている過去の Vectorworks を検索し、旧作

業環境（バージョン）の「作業画面」、「テンプレートファイル」、「ライブラリファイル」、「リソースファイル」、「環境設定」を Vectorworks 2025 へ移行します。

移行マネージャは、初回起動時のみではなく、ツールメニュー > 移行マネージャ から任意のタイミングで実行することができます。

1. Vectorworks 2025 が起動すると移行マネージャが自動的に起動します。

移行する場合は、「はい」をクリックします。



2. Vectorworks 移行マネージャダイアログボックスが開きます。「次へ」ボタンをクリックします。



3. 「ユーザーデータの選択」画面が表示されます。

「ユーザーデータの移行元」に、ご使用のパソコンにインストールされている旧バージョンが表示されますので、任意のバージョンを選択後、「次へ」ボタンをクリックします。



4. 移行可能なデータが表示されます。任意のデータを選択後、「次へ」ボタンをクリックします。



5. 「作業画面移行オプション」画面が表示されます。任意の移行方法を選択後、「次へ」ボタンをクリックします。



6. 「移行準備の完了」画面が表示されます。「移行」ボタンをクリックします。



7. 「移行の完了」画面が表示されます。「終了」ボタンをクリックすると移行が完了します。



- 詳しくは Vectorworks 2025 Help の「Vectorworks 移行マネージャ」をご参照ください。

6. 操作マニュアルについて

Vectorworks ソフトウェアをご利用中に、機能や操作についての情報をヘルプメニューの「Vectorworks ヘルプ」からご覧いただけます。なお、ヘルプ情報の初期設定はオンラインにて取得されるようになっています。通信状況によりオンライン情報が取得できない環境でのご利用時や、環境設定内の設定によってオフライン情報（インストール済みのデータ）もご覧いただけますが、最新情報はオンラインにて提供しております。

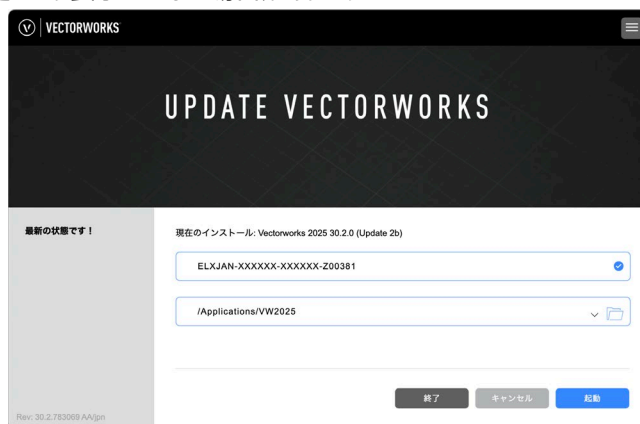
STEP4 : アンインストールについて


Vectorworks ソフトウェアのアンインストール

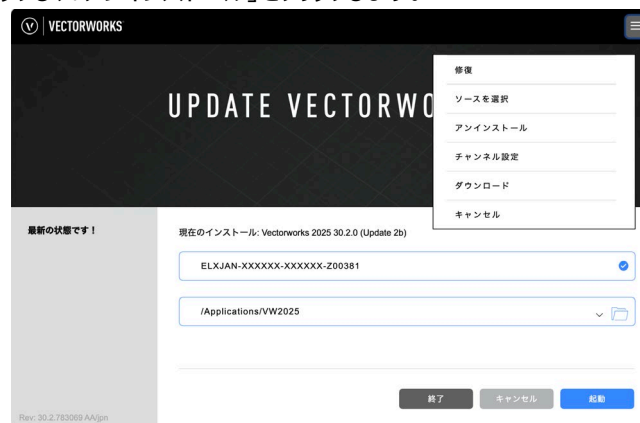
以下の手順で Vectorworks 関連ファイル、フォルダのアンインストールを行ってください。

なお、アンインストールを実行してもアクティベーションは解除されませんので、ご注意ください。

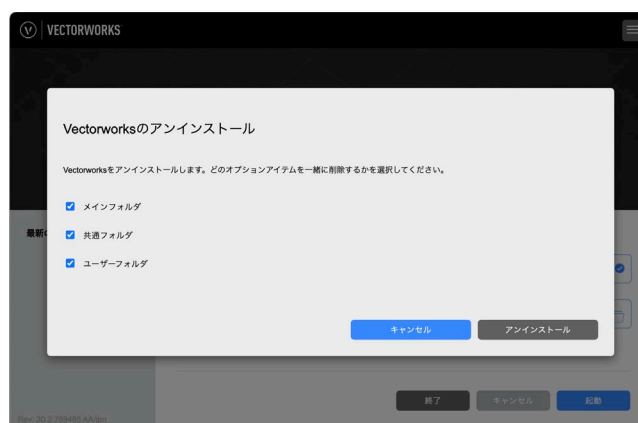
1. Windows : 「VW2025」フォルダ > 「Vectorworks 2025 Install Manager」フォルダ > Vectorworks 2025 Install Manager.exe をダブルクリックします。
Mac : 「VW2025」フォルダ > Vectorworks 2025 Install Manager.app をダブルクリックします。
拡張子は OS の設定により表示されない場合があります。



2. 右上の  をクリックし、「アンインストール」をクリックします。



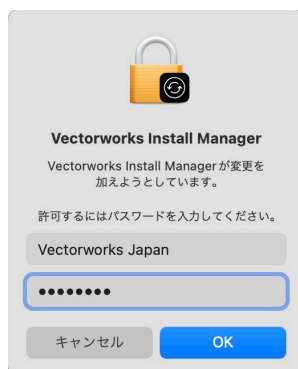
3. 削除するオプションアイテムを選択し、「アンインストール」ボタンをクリックします。



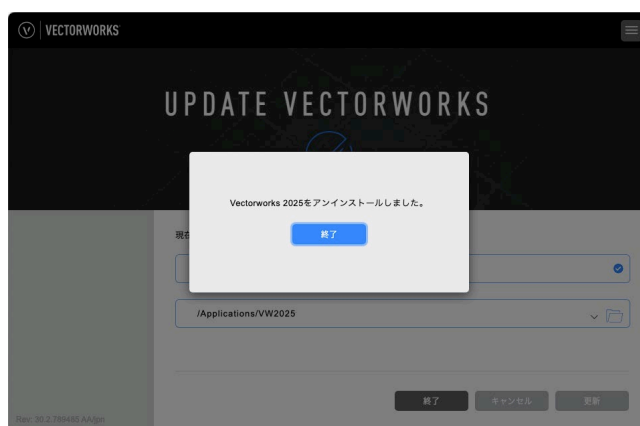
※ **ご注意**

「ユーザーフォルダ」を削除すると、カスタマイズした作業環境（作業画面・環境設定・テンプレート・共有リソース・ライブラリ）が削除されます。これまでの作業環境を継続して使用したい場合は、チェックを外してください。

- Mac はユーザ名とパスワードを求められることがあります。
ログインしている macOS のアカウントのユーザ名とパスワードを入力してください。



4. アンインストールが完了します。「終了」ボタンをクリックして終了してください。



A. よくある質問

Vectorworks ソフトウェアのセットアップに関してよくある質問を以下に記載いたしました。問題の解決にお役立てください。

Q	A
「インストールに失敗しました」と表示される	OS のユーザーアカウント名が 2 バイト文字（日本語）となっている場合に発生する場合があります。1 バイト文字（半角英数）のアカウントを新規作成し、そのアカウントでログインし直した状態でインストールをお試しください。
インストールが止まる / インストーラーが強制終了する / 「エラーが発生したため、インストールを完了することができませんでした。」と表示される	<ol style="list-style-type: none"> 1. セキュリティソフトウェアなどの常駐プログラムを停止させた状態でお試しください。ウィルス対策ソフトなどのセキュリティソフトウェアが、インストールやアップデートを阻害することがあります。 2. マシン管理者権限でログインした状態で、インストールをお試しください。また、フォルダやアプリケーションのアクセス権をご確認ください。アクセス権については、本マニュアル内の p.21 の「1. Vectorworks フォルダのアクセス権」をご参照ください。 <p>また、ご利用のパソコンのストレージに 55GB 以上の空き容量があるかご確認ください。</p>
追加モジュール（Architect, Landmark, Spotlight, Design Suite モジュール）を購入したが使用できない	<p>スタンドアロン版、ドングル版の場合</p> <p>モジュール追加購入後は Vectorworks の再インストールを行う必要はありません。以下の方法で、シリアル番号の更新を行ってください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ツール > オプション > 「環境設定」を選択し、環境設定ダイアログボックスを開きます。 2. 「その他」ペインの「シリアル」ボタンをクリックします。 3. シリアル番号ダイアログボックスを開きます。 4. 「削除」ボタンで現在のシリアル番号を削除し、「登録」ボタンで新しいシリアル番号を入力して登録後ダイアログボックスを閉じてください。 5. Vectorworks を再起動してください。 <p>再起動後、追加したモジュールが利用可能になります。</p> <p>ネットワーク版の場合</p> <p>ライセンス管理プログラム側のライセンスファイルの入れ替えが必要です。詳しくはネットワーク版サーバーインストーラーの「セットアップマニュアル.pdf」をご覧ください。</p>
Vectorworks を起動できない Vectorworks の動作が不安定（頻繁に強制終了する / 極端に動作が遅い）	<ol style="list-style-type: none"> 1. ご利用のパソコンが Vectorworks の必要とする動作環境を満たしているかご確認ください。 2. パソコンのユーザーアカウント名、および Vectorworks のインストール先のフォルダパスには、2 バイト文字（日本語など）を使用しないでください。 p.24 の「2. パソコンのユーザーアカウント名、およびインストール先のフォルダパスについて」をご参照ください。 3. セキュリティソフトウェアなどの常駐プログラムを停止させた状態でお試しください。ウィルス対策ソフトなどのセキュリティソフトウェアが動作を阻害することがあります。 4. p.21 の「1. Vectorworks フォルダのアクセス権」をご参照ください。 5. Windows:グラフィックスドライバーを更新してください。 6. p.10 の「STEP3：起動について」をご参照ください。

「このライセンスは許可されたマシンの最大数がアクティベートされているため、Vectorworks をアクティベーションできません」と表示され、Vectorworks を起動できない	ご利用のシリアル番号で利用可能なパソコンの台数を超過している状態です。このメッセージが表示されたパソコンでは、Vectorworks を起動できません。使用許諾契約の内容に従い、すでに Vectorworks を起動（アクティベーション）しているパソコンにてご利用ください。使用許諾契約内でご利用いただいているにも関わらず、このメッセージが表示される場合は、テクニカルサポートデスクへお問い合わせください。
Vectorworks をアンインストールしたい	p.18 の「Vectorworks ソフトウェアのアンインストール」 をご参照ください。

B. 注意点

1. Vectorworks フォルダのアクセス権

Vectorworksフォルダのアクセス権が正しくないと正常に利用できないことがあります。Vectorworksソフトウェアをインストールした後に、OS上でフォルダやファイルのアクセス権を制限すると、Vectorworksソフトウェアが正常に動作しなくなることがあります。OSで利用できるアプリケーションを制限している場合にもVectorworksソフトウェアが起動しないことがあります。

1-1. フォルダ・ファイルのアクセス権に関する注意点

- インストールの前に、インストール先フォルダ(アプリケーションフォルダなど)のアクセス権が「読み書き可能」になっていることを確認してください。
- インストール後、Vectorworksフォルダとその中に含まれるファイルおよびフォルダのアクセス権を変更しないでください。（「読み書き可能」となっているはずですので、そのままにしてください）
- マルチユーザーのOSでは、あるユーザーアカウントでインストールを行うと、別のユーザーアカウントでログインした場合にVectorworksが利用できなくなることがあります。Vectorworksフォルダが、Vectorworksを利用するすべてのユーザーアカウントで「読み書き可能」となっていることを確認してください。

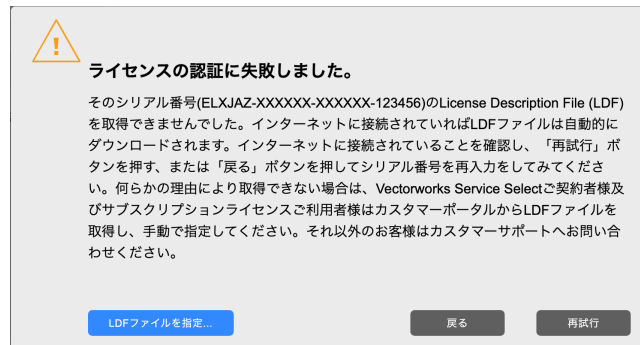
以上は、Vectorworksソフトウェアが動作中に、各種設定などをVectorworksフォルダ内(その下位のフォルダも含む)に保存するためであり、正しく保存されない場合は、Vectorworksソフトウェアが正常に動作・起動しないことがあります。

1-2. アプリケーションのアクセス権に関する注意点

- macOSでは、ユーザーアカウントごとに、利用できるアプリケーションを制限することができます。もしVectorworksが起動できない場合、この設定もご確認ください。
- ユーザーアカウントの設定方法や、フォルダ・ファイルのアクセス権の設定方法などは、お使いのOSのマニュアル等をご覧ください。

2. インストール時に『License Description File(LDF)の取得エラー』が表示された場合

Vectorworksのインストールにはインターネット接続が必要ですが、何らかの理由によりインターネット接続が阻害されている場合、下記のようなエラーが表示される場合があります。



上記のような『License Description File(LDF)の取得エラー』が表示された場合は、お手数ですが下記の点についてご確認をお願いいたします。

2-1. ご利用環境のインターネット接続設定やセキュリティ設定について

インターネットに接続されていない、もしくはインターネット接続に何らかの制限が設けられている（セキュリティソフトやファイアウォールの影響など）場合、当エラーが表示されることがあります。

セキュリティソフトの停止や、ネットワーク接続環境の見直しを行ってください。

もしくは、インターネット接続に制限がかかっていない別のネットワーク環境でインストールおよびVectorworksの起動をお試しください。

※プロキシサーバー環境にてご利用の場合は、後述の『プロキシサーバー環境でVectorworksをご利用の場合』をご参照ください。

※Vectorworks利用時のネットワーク接続先情報については、下記ページをご参照ください。

・Vectorworksソフトウェアご利用時のネットワーク接続先情報について

https://www.vectorworks.co.jp/Support/tips/vw_connectioninfo.html

2-2. プロキシサーバー環境で Vectorworks をご利用の場合

プロキシサーバー環境でVectorworksを利用する場合は、専用の設定が必要です。

インストーラーに同梱の「ドキュメント」フォルダ内にある、『プロキシ環境でご使用の方へ』内のドキュメントをご参照いただき、必要な設定を行った上でインストールを行ってください。

プロキシサーバー環境でのご利用前の設定手順については、下記ページでもご案内しています。

・プロキシサーバー環境でVectorworksソフトウェアのネットワーク接続機能が利用できない場合の対処方法について

https://www.vectorworks.co.jp/Support/tips/vw_proxyserver.html

2-3. Vectorworks Service Select（年間保守サービス）のご契約者様、および

Vectorworks サブスクリプションライセンスをご利用の場合

Vectorworks Service Selectご契約者様、およびサブスクリプションライセンスご利用のお客様で、『License Description File(LDF)の取得エラー』が表示された場合は、『Vectorworks カスタマーポータル』より必要なファイルを直接ダウンロードすることも可能です。

詳しい手順につきましては、下記ページをご参照ください。

- ・インストール時に『License Description File(LDF)の取得エラー』が表示された場合の対処方法について

https://www.vectorworks.co.jp/Support/tips/get_LDF.html

2-4. 上記の点をお試しいただいても問題が解決しない場合

お手数ですが、下記のお問い合わせフォームよりテクニカルサポートまでご連絡ください。

お問い合わせの際は、必ずお客様のユーザーIDかご契約番号、製品のシリアル番号をご記載の上、エラー表示内容や問題の発生状況等の詳細をお知らせください。

- ・テクニカルサポート お問い合わせフォーム

<https://www.vectorworks.co.jp/Support/mailform.html>

C. 快適にお使いいただくために

本項目では、Vectorworksの開発元であるVectorworks, Inc.の技術情報を元に、Vectorworks 2025を快適にお使いいただくために必要な情報をまとめています。

1. インターネット接続環境について

Vectorworks 2025では、インストールやアクティベーション、起動、アップデート、その他一部機能の利用のためにインターネット接続が必要です。

インターネットに接続できない、もしくはセキュリティ設定等によってネットワーク接続に制限が設けられている環境では、Vectorworks が起動できなったり、一部の機能が利用できない場合があります。

ネットワーク接続環境の設定や構築や、トラブルの解消などについては、お客様にて行っていただきます。当社ではこれらに関するサポートはいたしかねます。

2. パソコンのユーザーアカウント名、およびインストール先のフォルダパスについて

パソコンのユーザーアカウント名、および Vectorworks のインストール先のフォルダパスには、**2バイト文字（日本語など）**を使用しないでください。

これらに2バイト文字が使われている環境では、**Vectorworks が起動しない**、もしくは一部機能が利用できないなどの問題が発生する場合があります。

1バイト文字（英数半角）のユーザーアカウント名にて、インストール先のフォルダ名を変更せずに導入、ご利用いただくことを推奨します。

3. グラフィックスコントローラについて

いくつかのVectorworks 2025の機能は、高いグラフィックスハードウェアの性能を必要とします。さらに新しいVectorworksグラフィックスモジュール (Vectorworks Graphics Module)でもたらされるグラフィックス性能・品質は、グラフィックスコントローラの数、VRAMの量、そして拡張機能に直接依存します。これらの機能は、対応したハードウェアで使用する就非常にかつ滑らかな操作感をもたらしますが、古い、または適合しないハードウェアで用いると、顕著に動作が遅くなります。

グラフィックスコントローラは以下の3種類があります。

- グラフィックカード：ボードタイプでパソコンの拡張スロットに増設されています。
- 単体グラフィックス：チップタイプでマザーボード上に取り付けられています。
- CPU内蔵グラフィックス：CPUと一体タイプでCPUに内蔵されています。

CPU内蔵グラフィックスを使用した場合、複雑で大量の図形を使用すると表示速度が低下する場合があります。やむをえずCPU内蔵グラフィックスを使用する場合は、Intel Iris、Iris Pro/Iris Plus/Iris Xeをご使用ください。Intel HD Graphics/UHD Graphicsは、問題が発生する可能性が高いためご使用は避けてください。

- ※ Windows環境でNVIDIAグラフィックスをご利用の場合は、合わせて以下の弊社Webサイトの設定手順もご参考ください。

<https://bim.vectorworks.co.jp/blog/2019/06/4636/>

- ※ Windows環境でAMDグラフィックスをご利用の場合は、合わせて以下の弊社Webサイトの設定手順もご参考ください。

<https://bim.vectorworks.co.jp/blog/2019/06/6619/>

- ※ Mac環境でMacBook Proをご利用の場合は、合わせて以下の弊社Webサイトの設定手順もご参考ください。
<https://bim.vectorworks.co.jp/blog/2019/07/4716>

4. Iris、Iris Pro/Iris Plus/Iris Xeでのご使用について

Intel製CPU内蔵グラフィックスのIris、Iris Pro/Iris Plus/Iris Xe環境でVectorworks 2025をご使用になる場合は、Vectorworks 2025のグラフィックス設定を以下のように設定してください。2D描画時の安定性が向上します。

・ツールメニュー > オプション > 環境設定 > 画面 > 「グラフィックス処理を加速」のチェックをオフ

5. 動作対象外のグラフィックス環境について

NVIDIA NVSシリーズ/ATI Radeon HD 4550/Intel GMAは動作対象外です。

Intel HD Graphics/UHD Graphicsは、問題が発生する可能性が高いためご使用は避けてください。

6. シェイドレンダリング及びマルチビューについて

OpenGLレンダリングモードは、シェイドレンダリングモードへ名称が変更になりました。MacはMetal GPUFamily1以上、WindowsはDirectX 11互換のグラフィックスコントローラをご使用ください。この要件を満たさない場合は、シェイドモードでレンダリングを実行すると機能が制限され、機能しません。

シェイドの影と輪郭のレンダリングやすべてのウィンドウを異なる表示設定で使用するマルチビューはVRAMを大幅に使うため、最低でも2GB、できれば4GB以上のVRAMを必要とします。特に以下の機能を組み合わせて、シェイドの影や輪郭をフルに活用したいと考え、かつ、お使いのグラフィックスコントローラが、2GB未満のVRAMしか搭載していない場合は、グラフィックスコントローラをアップグレードすることをお奨めします。

- 数多くの光源
- 点光源
- イメージ/反射/透過 テクスチャ
- アンチエイリアス
- 高品質の影
- 大量の図形
- 複雑な図形

7. VRAM (ビデオメモリ) について

Vectorworks 2025を十分に動作させるのに必要なVRAMの量は、使用するディスプレイのサイズとファイルの複雑さに依存します。標準解像度が1920 x 1080以下の中程度のサイズのディスプレイでは、少なくとも2GBのVRAMを搭載したグラフィックスコントローラを使用してください。30インチ以上などの大きいディスプレイでは少なくとも3GB以上、できれば4GB以上のVRAMを搭載した新しいグラフィックスコントローラを使う必要があります。

マルチディスプレイや高解像度ディスプレイを使用する場合、同じファイルで滑らかさを保つためには、より多くのVRAMが必要になります。

- エントリー：16GBユニファイドメモリ(Mシリーズ)、4GB以上のVRAMを推奨
- ミドル：32GBユニファイドメモリ(Mシリーズ)、8GB以上のVRAMを推奨
- ハイエンド：64GBユニファイドメモリ(Mシリーズ)、12GB以上のVRAMを推奨

8. グラフィックスについて

Windowsのグラフィックス環境について

NVIDIA、またはAMD製のチップを搭載したグラフィックスボードの使用を推奨します。

評価検証済みのグラフィックスボードについては、以下の弊社Webサイトの情報をご参照ください。

https://www.vectorworks.co.jp/Support/sysreq/VW_QualityTestedHardware.html

推奨しないグラフィックスコントローラについてはp.3の動作環境の「グラフィックス」欄をご参照ください。

ノートパソコン/ビジネス用デスクトップパソコンでは、単体グラフィックスを搭載した機種を推奨します。CPU内蔵グラフィックスに比べ、より高い操作感を得ることができます。

CPU内蔵グラフィックスを使用した場合、複雑で大量の図形を使用すると表示速度が低下する場合があります。やむをえずCPU内蔵グラフィックスを使用する場合は、Iris、Iris Pro/Iris Plus/Iris Xeをご使用ください。その他（Intel HD系）は、問題が発生する可能性が高いためご使用は避けてください。

なお、グラフィックスコントローラの性能に依存するレンダリングモードの種類についてはp29の「14. 画面表示と各種レンダリングのハードウェア依存」をご参照ください。

NVIDIAグラフィックスをご利用の場合は、合わせて以下の弊社Webサイトの設定手順もご参考ください。

<https://bim.vectorworks.co.jp/blog/2019/06/4636/>

また、AMDグラフィックスをご利用の場合は、合わせて以下の弊社Webサイトの設定手順もご参考ください。

<https://bim.vectorworks.co.jp/blog/2019/06/6619/>

Macのグラフィックス環境について

- Mac Pro：NVIDIA、またはAMD製のチップセットを搭載したグラフィックカードを推奨
- MacBook関連 / iMac / Mac Mini：単体グラフィックスを搭載した機種を推奨
- Mac（Mシリーズチップ搭載機）：M1 8GB以上を推奨

Apple Mシリーズチップ搭載のMacは一般的な処理とグラフィック処理のためのメモリを共有しています。従来のシステムよりメモリ容量を大きくすることを推奨します。

また、MacBook Proをご利用の場合は、合わせて以下の弊社Webサイトの設定手順もご参考ください。

<https://bim.vectorworks.co.jp/blog/2019/07/4716>

グラフィックスドライバーについて

古いバージョンのグラフィックスドライバーを使用すると、問題が発生する場合があります。Vectorworks 2025を使用する前に、まずグラフィックスドライバーを最新のバージョンへアップデートしてください。

NVIDIAドライバー：<https://www.nvidia.co.jp/Download/index.aspx?lang=ja>

AMDドライバー：<https://support.amd.com/ja-jp/download>

動作確認済みのグラフィックスコントローラについて

以下のサイトで、動作確認済みのグラフィックスコントローラをご案内しています。

https://www.vectorworks.co.jp/Support/sysreq/VW_QualityTestedHardware.html

9. リモート環境および仮想マシンについて

Vectorworks 2025※ は、リモート環境および仮想化環境で動作します。動作環境に記載の条件を十分に満たすリソースがVectorworksに与えられていれば仮想化技術を使用して運用することが可能です。

リモート環境および仮想化システムを使用するには、お客様ご自身で仮想化システムのための環境構築を行っていただくか、外部のIT専門業者等に依頼して環境を整えていただく必要があります。当社ではシステム環境の構築や設定、トラブル等のサポートはいたしかねます。

Vectorworksはグラフィカルなアプリケーションであるため、高品質のグラフィックスサポートが必要となります。動作環境に記載の推奨グラフィックスをご参照いただき、仮想GPU(vGPU)をご検討ください。Vectorworksが仮想化環境で正常に動作するには、十分なグラフィックスサポートが必要です。

十分なネットワーク環境（広帯域幅、低レイテンシ）も仮想化環境でVectorworksを快適にお使いになるためには重要です。

※ネットワーク版を仮想化環境で利用するには、特別なお手続きが必要です。新規導入をご検討のお客様は弊社営業部まで、または現在ご利用中のお客様はカスタマーサポートデスクまでお問い合わせください。

10. インストールについて

- ・スタンドアロン版は1ライセンスで1ユーザーが使用している2台のパソコンにインストールできます。ただし同時起動はできません。
- ・ネットワーク版クライアント及び教育機関向けライセンスはインストール台数の制限はありません。
- ・Vectorworks 学生・教職員向けライセンスは1ライセンスで1台のパソコンのみインストールできます。
- ・Windows、Macの両プラットフォームに対応しています。
- ・スタンドアロン版、学生・教職員向けライセンスの起動にはインターネット経由のアクティベーションが必要です。
- ・サイレントインストールでの導入は推奨していません。サイレントインストールを行う場合は、自己責任において実施してください。

※ サイレントインストールに関する参考サイト（英語）：

[Command Line Installation of Vectorworks 2025 - Vectorworks Community Board](#)

11. OS

アップデートについて

リリース時にご案内しているOS（オペレーティングシステム）のバージョンを最低動作環境として推奨します。

OSに起因する問題が発見された場合には、問題解決の最初の手順として、OSのアップデートをお願いする場合があります。

32bit OSについて

Vectorworks 2025は64bitアプリケーションです。32bit OSには対応しておりません。

12. 動作の最適化

- ・大容量のファイルと複雑なレンダリングモードを用いて作業する場合、最低でも16GBのメモリを搭載して使用することを強く推奨します。メモリの容量が不足すると、Vectorworks 2025は仮想メモリを使用することで動作し続けますが、

ハードディスクにアクセスするため動作速度は著しく低下します。また、メモリの容量が極端に不足すると、十分なメモリ容量があれば完了する操作の場合にもエラーが発生する場合があります。

- ・高速なストレージを使用することで、仮想メモリ使用時にシステムの動作速度を若干向上させることができます。
- ・CPUのクロック速度が高速であるほどVectorworks 2025の操作感が向上します。
- ・インストールに必要なストレージの容量は、プログラムのみで22GB必要です。オプションライブラリのインストールには、さらに33GB必要となります。オプションライブラリの一部をインストールしないことで、容量を削減することができます。

13. プロジェクト共有機能とネットワーク回線の速度

ネットワークを通じてプロジェクト共有作業を行う場合、Vectorworks 2025のパフォーマンスはネットワーク回線の速度に左右されます。ネットワーク回線速度が十分でない場合は、プロジェクトファイルに変更を反映させる操作やローカルのワーキングファイルの更新操作など、ネットワーク越しに大量のデータを送信するような操作を実行すると、速度が低下します。

最低でも100Mbpsの速度のネットワーク回線の使用を推奨します。大きなプロジェクトの場合は、高速で、滑らかな動作を得るために、1Gbpsの速度のネットワーク回線を強く推奨します。遅いネットワーク環境でも、大量のデータを送信する操作を最小限に抑えることで十分ご使用いただくことができます。

※ プロジェクト共有機能は、Fundamentalsでは利用できません。

クラウドストレージを使用するプロジェクト共有には、高速インターネット接続（50Mbps以上）が必要です。この共有方法は、小規模なチームや小規模なプロジェクトで効果的です。大規模なチームや大規模なプロジェクトにはお勧めできません。プロジェクトの共有には一般的に高速ネットワーク接続が必要ですが、ネットワークを介して大量のデータを転送する操作（プロジェクトファイルへの変更の反映やローカルの作業ファイルの更新など）を最小限に抑えることで、十分な操作感が提供されます。DropboxでLAN同期を有効にすると、速度が大幅に向上することが期待できます。これは、プロジェクト共有のためのクラウドベースの共有ソリューションとして推奨されます。

異なる帯域幅およびプロジェクトファイルサイズに対する反映および更新動作中のデータ転送時間の例を下の図に示します。

プロジェクトファイルサイズ	ネットワーク回線速度 (ダウンロード/アップロード)	反映/更新 データ転送時間
100MB	50Mbps	～20s
	100Mbps	～10s
	1Gbps	～1s
500MB	50Mbps	～100s
	100Mbps	～50s
	1Gbps	～5s
1GB	50Mbps	～200s
	100Mbps	～100s
	1Gbps	～10s

プロジェクト共有サーバー 2025 動作環境

	Windows	Mac
OS	Window 11 Window 10(64bit) Windows Server 2016 以上 ※32bit OS は非対応	macOS 15 (Sequoia) macOS 14 (Sonoma) macOS 13 (Ventura) macOS 12 (Monterey) macOS 11 (Big Sur) macOS 10.15 (Catalina) macOS 10.14 (Mojave) macOS 10.13 (High Sierra) macOS 10.12 (Sierra)
	※プロジェクト共有サーバーは、ネットワーク接続ストレージ (NAS) デバイスなどの Docker をサポートする任意のシステムにもインストールできます。 上記以外の OS 対応状況については、弊社 Web サイト https://www.vectorworks.co.jp/Support/sysreq/VW2025.html をご確認ください。	
CPU	Intel Core 2 Duo 以上	
メモリ	4GB 以上	
ネットワーク環境	推奨：1Gbit/s のイーサネットネットワーク (最小：100Mbit/s のイーサネットが必要です。アップロード時は最低 50Mbit/s) 同一 LAN 上で共有する場合、サーバーベースの共有を推奨します。 プロジェクト共有サーバーが使用するネットワークポートをファイアウォールで許可する必要があります。 デフォルトのポートは 22001 です。 ネットワークは HTTP 1.1 standard をサポートする必要があります。	
その他	フラッシュストレージ (SSD) にインストールすることで動作速度が向上します。 大文字と小文字を区別するファイルシステムはサポートされていません。 ※ プロジェクト共有機能は、Vectorworks Fundamentals では利用できません。	

14. 画面表示と各種レンダリングのハードウェア依存

Renderworksレンダリングでは、Maxon社製のCinewareエンジンを使用しています。Cinewareは完全に64bit化されているため128GB以上のメモリや、Renderworksレンダリングモードでマルチコア（複数CPUコア）を活用することができます。シェイド、ワイヤーフレーム、隠線レンダリングはCinewareエンジンを用いていないため、Renderworksレンダリングほどメモリを消費しません。

下表に、レンダリングモードの種類と、レンダリング操作を行う際にプロセッサ（CPU）を使用するか、グラフィックスコントローラ（GPU）を使用するかを示しています。

レンダリングモード	グラフィックスコントローラ(GPU)	プロセッサ (CPU)
2D / ワイヤーフレーム	使用	使用 - シングルコアで動作
シェイド	使用	不使用
隠線	不使用	使用 - マルチコアで動作
仕上げポリゴン / シェイドポリゴン	不使用	使用 - シングルコアで動作
簡易Renderworks / 仕上げRenderworks / カスタムRenderworks	不使用	使用 - マルチコアで動作

上表からわかるように、グラフィックスコントローラのリソースを使用するレンダリングモードはシェイドとワイヤーフレームのみです。他のレンダリングモードはグラフィックスコントローラに依存しないため、グラフィックスコントローラをアップグレードしても、

シェイドとワイヤーフレーム以外ではレンダリング速度や品質は向上しません。（注意：レンダリングモードではありませんが、グラフィックスコントローラは2D/平面ビュー、および通常の2Dナビゲーショングラフィックスに直接影響します）

逆に、各種Renderworksレンダリングモードは主にCPUを使用し、マルチコアを使用することができます。このため、これらのモードでレンダリング速度を向上させるには、より上位のCPUにすると効果的です。

ワイヤーフレームモードは、グラフィックスコントローラのアップグレードと、よりパワフルなCPUの両方で効果がありますが、グラフィックスコントローラに依存する度合いが高くなります。

RenderworksはAMDおよびIntel CPU上でAVXをサポートする必要があります。AVXサポートがない古いIntel MacではRenderworksは動作しません。

15. Redshift動作環境

「Redshift by Maxon」レンダリングスタイルは、コンピューターのGPUとCPUを使用してフォトリアリスティックレンダリングを実行します。

動作要件を満たす場合、RedshiftはコンピューターのGPUをレンダリングに使用します。GPUが要件を満たさない場合は、コンピューターのCPUのみがRedshiftレンダリングの実行に使用されます。

Redshiftが利用可能かどうかはRenderworksスタイルの編集ダイアログボックスに表示されるメッセージで確認できます。Redshiftを選択しているが使用できない場合、代わりにカスタムRenderworksレンダリングスタイルが使用されます。

Redshift 動作環境

GPU と CPU を使用				
	Windows		Mac	
	最小	推奨	最小	推奨
CPU	SSE2対応のプロセッサ (Pentium4以上)	3.0GHz 以上の Intel Core i7 または Xeon、またはそれと同等以上のもの	・SSE2 対応のプロセッサ (Pentium4 以上) ・Apple M1 以上	・3.0GHz 以上の Intel Core i7 または Xeon、またはそれと同等以上のもの ・Apple M1 Max 以上
メモリ	8GB	16GB	・Intel Mac: 8GB ・M シリーズ: 16GB	・Intel Mac: 16GB 以上 ・M シリーズ: 32GB 以上
グラフィックス	8GB 以上の VRAM を搭載した CUDA5.0 以上の NVIDIA のシングル GPU	16GB 以上の VRAM を搭載した CUDA7.0 以上の NVIDIA のマルチ GPU	Apple M1、もしくは 8GB 以上の VRAM を搭載した AMD Navi、あるいは Vega 以降のシングル GPU	Apple M1 Max 以上、もしくは 8GB 以上の VRAM を搭載した AMD Navi、あるいは Vega 以降のマルチ GPU

CPU のみ使用		
	Windows	Mac
OS	Windows 10 (64bit)以降	macOS 12(Monterey)以降
CPU	SSE2 対応のプロセッサ (Pentium4 以上)	<ul style="list-style-type: none"> ・SSE2 対応のプロセッサ (Pentium4 以上) ・Apple M1 以上
メモリ	8GB 以上	<ul style="list-style-type: none"> ・Intel Mac : 8GB 以上 ・M シリーズ : 16GB 以上

※記載されている情報は2025年4月現在のものです。

RedshiftをサポートしているAMD GPUは以下の通りです。

MacBook Pro

Radeon Pro Vega 16/20
Radeon Pro 5500M/5600M

iMac

Radeon Pro Vega 48
Radeon Pro 5500XT/5700/5700XT

iMac Pro

Radeon Pro Vega 56/64

Mac Pro

Radeon Pro Vega II / Vega II Duo
Radeon Pro W5500X/W5700X
Radeon RX 6800/6800XT/6900XT
Radeon W6800X MPX

Thunderbolt eGPUs

Radeon RX Vega 56/64
Radeon Pro WX 9100
Radeon VII
Radeon RX 5500/5500XT/5600XT/5700/5700XT
Radeon RX 6800/6800XT/6900XT
Radeon W6800X MPX

16. Showcase機能について

Showcase はシェイドレンダリングモードを使用し、通常多くの照明を使用するため、最高のユーザーエクスペリエンスを得るためには高いフレームレートが必要です。Showcase で高品質のレンダリングを体験するには、動作環境の「ハイエンド」に準拠したハードウェアを推奨します。

17. 他社製レンダリングアプリケーションとの連携について

Vectorworks 2025 は、リアルタイムレンダリングアプリケーションの Lumion、Enscape、Twinmotion、Omniverse と連携して利用することができます。

これらの他社製レンダリングアプリケーションは、それぞれ独自のハードウェア要件が設けられています。

ご利用の際は、Vectorworks 2025 の推奨動作環境と合わせて、連携するアプリケーションの要求スペックもご考慮ください。

詳しくは、各リンク先の情報（外部サイト/英語）をご参照ください。

Lumion:

<https://support.lumion.com/hc/en-us/articles/360003476753-Which-graphics-card-do-you-need->

Enscape:

<https://enscape3d.com/system-requirements/>

Twinmotion:

<https://twinmotionhelp.epicgames.com/s/article/Twinmotion-System-Requirements>

Omniverse:

<https://docs.omniverse.nvidia.com/>

また、連携先のアプリケーションの操作方法等につきましては、各ソフトウェアメーカーへお問い合わせください。

18. 高解像度ディスプレイについて

Mac には Retina ディスプレイや 5K ディスプレイを、Windows には 4K ディスプレイを搭載している機種があります。これらの機種で Renderworks レンダリングを行うと、画面の解像度に合った高精細なレンダリングを行うことができます。反面、生成するピクセル数が多くなるため標準的なディスプレイと比較すると 3～4 倍のレンダリング時間が必要となります。

19. サポート対象外の環境について

以下の環境は Vectorworks 2025 ではサポートしていません。

- ・ARM プロセッサ（Windows）
- ・Linux
- ・Chrome OS
- ・モバイル OS

D. 各フォルダ/ファイルの役割

ファイル / フォルダ	役割
Vectorworks 2025 (.app/.exe)	ソフトウェア本体です。
Plug-Ins (フォルダ/.vsm/.vst/.vso 他)	Vectorworks ソフトウェア専用のプラグインが入っています。Vectorworks ソフトウェア本体と同じ階層上に必要です。
Workspaces (フォルダ/.vww)	ツール、メニューの構成が記載された作業画面 (Workspaces) が入っています。Vectorworks ソフトウェア本体と同じ階層上に必要です。
VWHelp (フォルダ/.xml 他)	Vectorworks ヘルプと VectorScript Function Reference が [html]形式で入っています。
Libraries (フォルダ/.vwx 他)	「リソースマネージャ」で利用するライブラリファイルが入っています。また、定型化したクラスとレイヤを含むテンプレートファイル、新規ファイルを開いた時に使用するテンプレートファイルが入っています。
Plant Database (フォルダ)	植栽のデータベースが入っています。(Design Suite、または Landmark をご利用の場合のみ使用可能です。)
InstLog.txt (書類)	Vectorworks ソフトウェア、プラグインなどをインストールした記録 (ログ) が入っています。
その他のファイルやフォルダ	それぞれ Vectorworks ソフトウェアが利用するファイルやフォルダです。

※ ご注意

「Plug-Ins」フォルダと「Workspaces」フォルダ、その他インストールされた書類は「絶対に」必要なものです。これらがないと、Vectorworks は起動しません。

E. 技術情報関連

Vectorworks ソフトウェアを快適にご使用いただくための情報や、出荷時点での既知の障害、仕様上の制限事項をご案内いたします。

最新の情報は、弊社 Web サイトにて、随時ご案内しています。

ベクターワークスジャパン Web サイト : <https://www.vectorworks.co.jp/Support/sysreq/VW2025.html>

以上

ベクターワークスジャパン株式会社

2025.5.7

©1985–2025 Vectorworks, Inc.

□Vectorworks, Renderworks, Braceworks, ConnectCAD と V Design without limits ロゴは Vectorworks, Inc. の登録商標です。

□SmartCursor と VectorScript は Vectorworks, Inc. の商標です。

□Vision は Vectorworks, Inc. の製品です。

□Windows は、米国 Microsoft Corporation の、米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。

□Mac, macOS は、米国およびその他の国で登録された Apple Inc. の商標です。

□Adobe, Acrobat は Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の商標です。

□その他すべての商標は、それぞれの権利帰属者の所有物です。

□その他記載されている会社名および商品名などは該当する各社の商標または登録商標です。

□本書に記載されている一部または全部を無断で転載する事は禁止されています。

□製品の仕様、サービス内容等は予告なく変更することがあります。